

平成27年6月5日  
九州地方整備局  
11:40現在

鹿児島県口永良部島の噴火に伴う取組状況（第19報）  
～土砂災害専門家によるヘリ調査結果について～

## 概要

- ・5月29日9時59分、鹿児島県口永良部島で噴火が発生。
- ・5月30日より、緊急災害対策派遣隊（TEC—FORCE）による、屋久島中継所から口永良部島を監視するカメラの映像を配信中。

平成27年5月29日に発生した鹿児島県屋久島町口永良部島の噴火に関して、噴火後の降雨による土砂流出状況を調査するため、国土技術政策総合研究所および国立研究開発法人土木研究所の土砂災害に関する専門家によるヘリ調査を実施しました。

### ○土砂災害に関する専門家

国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部

土砂災害研究室 室長 國友 優（くにとも まさる）

国立研究開発法人 土木研究所

火山・土石流チーム 主任研究員 藤村 直樹（ふじむら なおき）

### ○調査日時

平成27年6月4日（木）

口永良部島流域のヘリコプター調査 16:26～17:13

### ○土砂災害に関する専門家の所見

（別紙）のとおり

## 1. 体制

### ○災害等応援本部体制履歴

- ・5/29 10:08 非常体制

## 2. 防災ヘリコプター「はるかぜ号」による被災状況調査

### ■1次調査

- ・5/29 11:06 福岡空港離陸
- ・5/29 12:50 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・5/29 17:00 鹿児島空港に帰還

### ■2次調査

- ・5/30 8:23 鹿児島空港離陸
- ・5/30 9:11 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・5/30 10:18 鹿児島空港に帰還

■ 3次調査

- ・ 5/31 12:54 「はるかぜ号」 鹿児島空港離陸
- ・ 5/31 14:03 「はるかぜ号」 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・ 5/31 14:24 「愛らんど号」 鹿児島空港離陸
- ・ 5/31 15:40 「愛らんど号」 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・ 5/31 15:58 「はるかぜ号」 鹿児島空港に帰還
- ・ 5/31 17:05 「愛らんど号」 鹿児島空港に帰還

■ 4次調査

- ・ 6/1 8:30 「はるかぜ号」 鹿児島空港離陸
- ・ 6/1 9:52 「はるかぜ号」 種子島空港離陸
- ・ 6/1 10:17 「はるかぜ号」 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・ 6/1 15:59 「はるかぜ号」 鹿児島空港に帰還

■ 5次調査

- ・ 6/4 8:03 「はるかぜ号」 鹿児島空港離陸
- ・ 6/4 9:30 「はるかぜ号」 種子島空港離陸
- ・ 6/4 9:50 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・ 6/4 10:55 種子島空港に帰還
- ・ 6/4 11:48 「はるかぜ号」 種子島空港離陸
- ・ 6/4 12:10 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・ 6/4 14:49 種子島空港に帰還
- ・ 6/4 16:03 「はるかぜ号」 種子島空港離陸
- ・ 6/4 16:26 口永良部島到着（画像撮影開始）
- ・ 6/4 18:50 鹿児島空港に帰還

3. リエゾン派遣状況

派遣先	派遣中人数	活動開始日時	備考
鹿児島県庁	0人	5/29 12:00	6/3 9:00撤収
屋久島町役場	2人	5/29 15:50	
合計	2人		

4. TEC-FORCE派遣状況

TEC-FORCE派遣員数 7名を派遣中

5. TEC-FORCE活動状況

- 5/29 20:35~23:00 屋久島中継所にて、カメラ回線設定のための事前調査を実施
- 5/30 11:50~ 屋久島中継所から口永良部島を監視するカメラの映像配信開始
- 6/3 11:50~ 屋久島町役場にて口永良部島を監視するカメラの映像受信開始

6. 派遣機械・機器

○情報収集車1台

- ・ 5/29 18:00 鹿児島県 鹿児島市 谷山港 出発
- ・ 5/30 7:00 鹿児島県 屋久島町 宮之浦港 到着
- ・ 5/30 9:10 屋久島中継所到着
- ・ 5/30 11:50 Ku-SAT映像配信開始（監視カメラ映像）
- ・ 5/31 10:45 永田公園に到着

- ・ 5/31 14:24 Ku-SAT映像配信開始（愛らんど号撮影映像）
- ・ 5/31 16:55 撤収
- ・ 5/31 18:40 屋久島町役場移動
- ・ 6/ 3 11:50 屋久島町役場にKu-SAT設置（監視カメラ映像受信）

○待機支援車 1台

- ・ 5/30 8:30 鹿児島県 鹿児島市 鹿児島本港 出発
- ・ 5/30 12:30 鹿児島県 屋久島町 宮之浦港 到着
- ・ 5/30 12:46 屋久島中継所到着
- ・ 5/30 13:12 屋久島町役場移動

○小型パトロールカー 1台

- ・ 5/30 18:00 鹿児島谷山港（フェリー）出航
- ・ 5/31 7:23 屋久島宮之浦港到着
- ・ 5/31 8:30 屋久島中継所到着

○衛星通信装置（Ku-SAT）①

- ・ 5/30 7:00 屋久島町宮之浦港到着
- ・ 5/30 11:00 屋久島中継所で口之良部島の映像配信開始
- ・ 6/3 屋久島町長室への監視モニター設置
- ・ 6/4 屋久島町長室への監視モニターへはるかぜ映像配信

○衛星通信装置（Ku-SAT）②

- ・ 6/1 8:35 屋久島中継所到着
- ・ 6/2 ヘリテレ映像受信等のため待機中
- ・ 6/4 高感度カメラ調整中

○衛星通信装置（Ku-SAT）③

- ・ 6/4 Ku-SAT設置場所選定の現地調査継続

## 【参考】

### リエゾン（災害対策現地情報連絡員）とは

地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害の発生時に、地方公共団体が設置した災害対策本部へ国土交通省職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うものです。

### 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）とは

#### ■目的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

#### ■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧

### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部  
企画部 建設専門官 寺尾 幸太郎  
電話：092-414-7301(本部直通)  
FAX：092-481-9210(本部直通)

### 【ヘリ調査結果に対する問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部  
河川部 建設専門官 佐々木 美紀  
電話：092-414-7301(本部直通)

## 口永良部島へり調査結果について

### 1. 調査者

国土技術政策総合研究所 土砂災害研究室：國友室長

国立研究開発法人 土木研究所 火山・土石流チーム：藤村主任研究員

### 2. 調査日時：平成 27 年 6 月 4 日 16 時 26 分～17 時 13 分

### 3. 所見

- 6 月 3 日の降雨量は、鹿児島県口永良部雨量観測所で最大時間雨量 38mm、累加雨量 72mm の降雨があった。
- この降雨により、土石流危険溪流・向江浜川で土石流が発生したことを確認した。
- この土石流により林道橋が埋没している状況が見てとれた。
- 向江浜川沿いのコンクリートプラントの敷地内の一部に、駐車車両のタイヤ半分程度の深さで土砂が堆積していたが、建物等への顕著な被害は確認できなかった(写真①参照)。
- 新岳南西斜面の火砕流の影響を被った範囲から流出した土砂が林道に堆積していた他、新岳東斜面の降灰が顕著であった範囲から流出した土砂による海の濁りが認められた。
- その他、流出した土砂により海の濁りがいくつかの箇所で確認されたが、建物等への目立った被害は確認できなかった。
- 今回の降雨により、山腹斜面の堆積した火山灰等はある程度流出したと思われるが(写真②参照)、噴火前に比べると依然として土石流発生リスクが高まっている状態であると考えられ、3 日と同等以上の降雨があった場合は、大きな土石流が発生する恐れがあるので注意が必要である。
- 今後も、特に、向江浜川の流域等、降灰の影響を受けた範囲については、山腹のガリー侵食の発生等、降雨による流域の状況の変化を注意深く監視していくことが重要である。

# 口永良部島のヘリ調査 H27.6.4



図-1 位置図

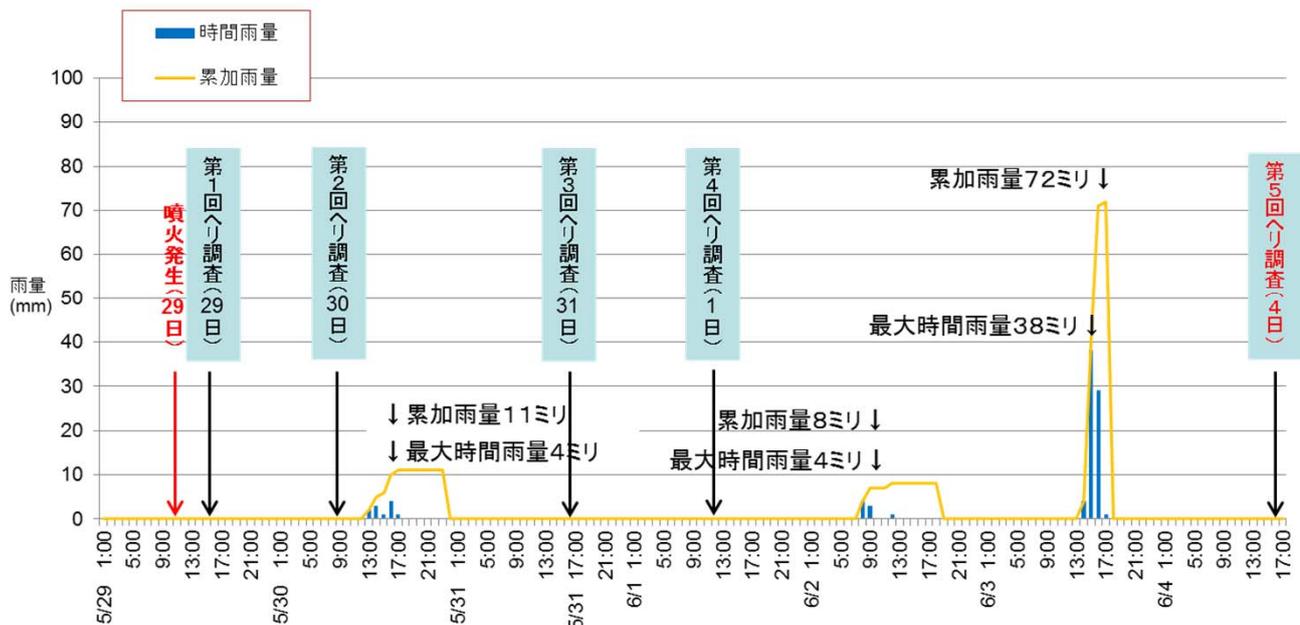


図-2 雨量グラフ(口永良部雨量観測所)

## 向江浜河口の状況

平成27年5月29日  
(第1回へり調査)



平成27年6月1日  
(第4回へり調査)



平成27年6月4日  
(第5回へり調査)



# 口永良部島のへり調査写真②

## 新岳北西側斜面

平成27年5月29日  
(第1回へり調査)

九州地整はるかぜ号から撮影



平成27年6月1日  
(第4回へり調査)

九州地整はるかぜ号から撮影



平成27年6月4日  
(第5回へり調査)

九州地整はるかぜ号から撮影



降雨によって山腹斜面に堆積した火山灰等がある程度流出したと思われる(専門家所見より)